

【SQL Server のアンインストール方法】

SQL Server がうまくインストールできない場合に SQL Server を削除する場合や、システムを利用しなくなり SQL Server を削除する場合に、TKC 専用のインスタンス（名前付きインスタンス）を削除する必要がある場合は、P 2 への手順を参照してください。

なお、既に TKC システムをご利用の PC で SQL Server のアンインストールを行う場合は、以下の注意点があります。

【既に TKC システムをご利用の PC で SQL Server のアンインストールを行う場合の注意点】

1. SQL Server は、名前を付けて複数の SQL Server のインスタンス(サービス)を作成することができます。(=「名前付きインスタンス」といいます。)

同じバージョンの SQL Server を、弊社 TKC と他社ベンダーが使用する場合でも、各社ごとに名前付きインスタンス(※)が異なるため、各社のシステムが使用する SQL Server のデータ領域は異なり、他社のシステムに影響を与えることや、他社のシステムから影響を受けることはありません。

※ TKC 専用の名前付きインスタンス名は「MSSQL????TKC」(????は任意の数字)です。

2. 他社システムには影響を与えません(影響を受けません)が、TKC 専用インスタンスは複数の TKC システムが使用するため、間違えて当該インスタンスを削除してしまうと、他の TKC システムが動かなくなってしまう場合があります。削除する SQL Server のバージョンごとに、以下のご注意がございます。

3. [Microsoft SQL Server 2014]（以下、MSEE2014）を削除する場合のご注意

- (1) **下表①～③のいずれかのシステムをご利用の場合には、削除は令和 6 年 8 月までお待ちください。** 下表①～③の各システムでは事前に [Microsoft SQL Server 2022]（以下、MSEE2022）を登録し、各システムが起動できるようになった後に削除する必要がありますが、各システムでの「MSEE 2022」への対応は、令和 6 年 8 月を予定しています。
- (2) 下表①～③のいずれのシステムもご利用でない場合で、下表④～⑦の各システムをご利用の場合は、事前に MSEE2022 を登録し、各システムが起動できるようになった後に削除してください。

①	e - TAX 電子納税
②	e - TAX 償却資産
③	e - TAX 法定調書
④	グループ通算申告システム（e - TAX グループ通算）
⑤	法人電子申告システム(ASP1000R)
⑥	連結納税システム(eConsoliTax)

⑦	e - T A X消費税
---	--------------

4. [Microsoft SQL Server 2022]又は[SQL Server 2008 R2]を削除する場合のご注意
ヘルプデスクでご利用のP C上のSQL Serverの登録状況とシステムD Bの作成状況を確認させていただき、可能な場合にSQL Serverのアンインストールをヘルプデスクよりご案内させていただきます。

【ご対応方法】

I 事前準備 (SQL Server のアンインストールが可能かどうかの確認)

ご利用のP Cで初めてSQL Serverをインストールし、エラー等の対処のためにSQL Serverをアンインストールする場合は、当該確認は不要です。以下のIIに進んでください。

また、既にT K Cシステムをご利用の場合で、ヘルプデスクより依頼があった場合は、お手数ですが、以下のオンラインQ & Aをご参照いただき、ネットワークチェッカーというツールで、ご利用のP C上のSQL ServerやシステムD Bの登録状況を確認させていただきます。そのうえで、SQL Serverのアンインストールが可能と判断された場合は、以下のIIを行ってください。

【ご参考】[ネットワークチェッカーの使用方法\(0101261\)](#)

II SQL Server のアンインストール

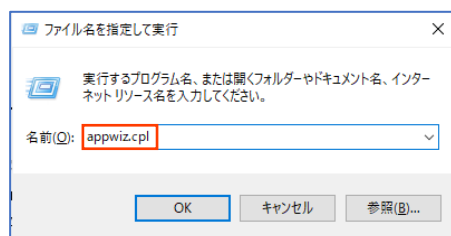
※[SQL Server 2008 R2]のアンインストールの内容で[SQL Server 2022/2014]と違いがある箇所は、青字で記載しています。

※青字で記載のない手順は、[SQL Server 2022/2014]と[SQL Server 2008 R2]で同様の手順となります。

1. 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

2. 名前欄に「appwiz.cpl」と入力し、[O K]ボタンをクリックします。

※「」は入力不要です。



3. [プログラムと機能]画面で、[Microsoft SQL Server 2022]または[Microsoft SQL Server 2014]の行を右クリックし、[アンインストールと変更]をクリックします。

※ユーザーアカウント制御の画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

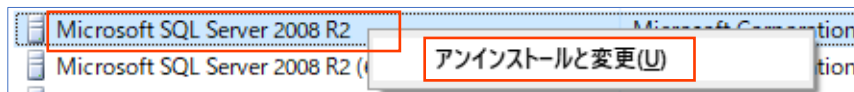
※[Microsoft SQL Server 2022]または[Microsoft SQL Server 2014]の行が存在しない場合は、SQL Server 2022 および SQL Server 2014 がインストールされていません。
その場合は、P6 の「[1 3.](#)」以降を確認してください。



※SQL Server 2008 R2 のアンインストールを行う場合は、

[Microsoft SQL Server 2008 R2]の行に読み替えてください。

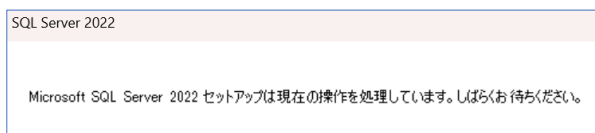
※[Microsoft SQL Server 2008 R2]の行が存在しない場合は、SQL Server 2008 R2 がインストールされていません。その場合は、P6 の「[1 3.](#)」以降を確認してください。



4. [削除]のリンクをクリックします。



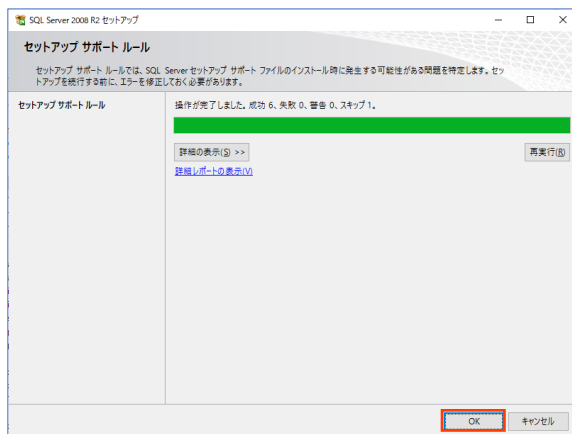
5. 以下の画面が表示されるので少々お待ちください。



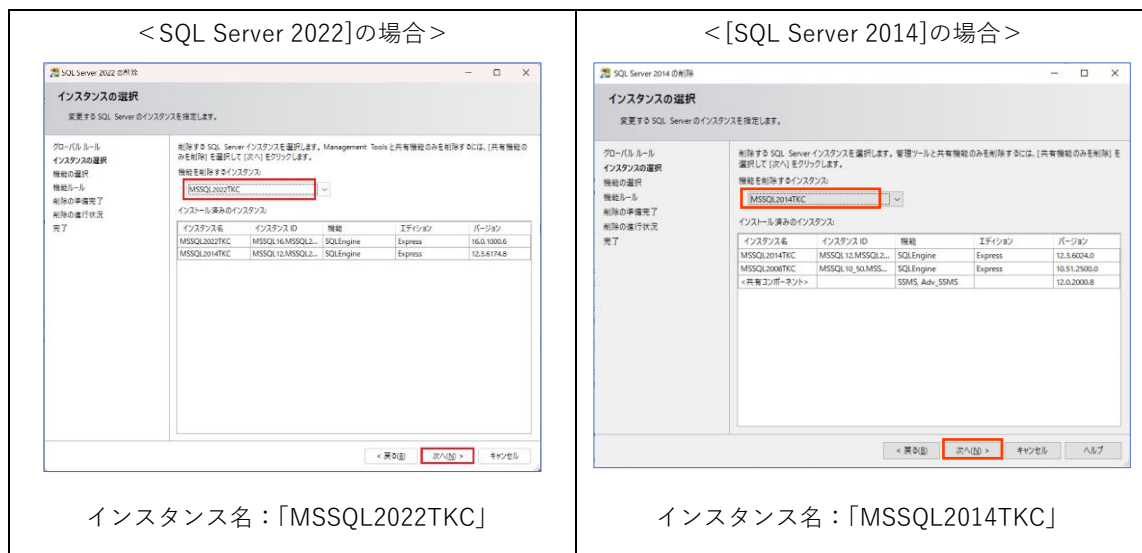
6. [グローバル ルール]画面が表示された場合は、表示された対処を行い、[次へ]ボタンに進みます。

※[次へ]ボタンを押さなくても[グローバル ルール]画面が一瞬表示されて、次の[インスタンスの選択]画面に進むこともあります。

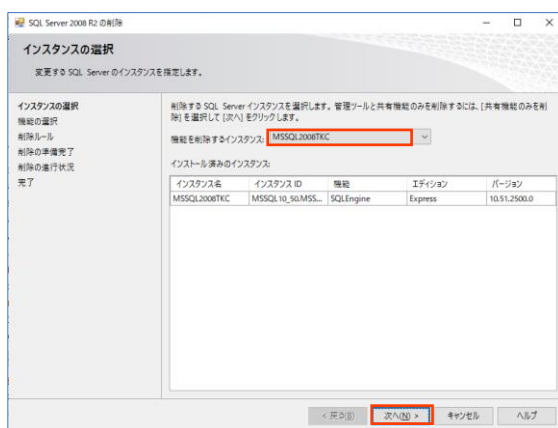
※[SQL Server 2008 R2]の場合は、[セットアップサポートルール]画面が表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



7. 以下の画面でインスタンスを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

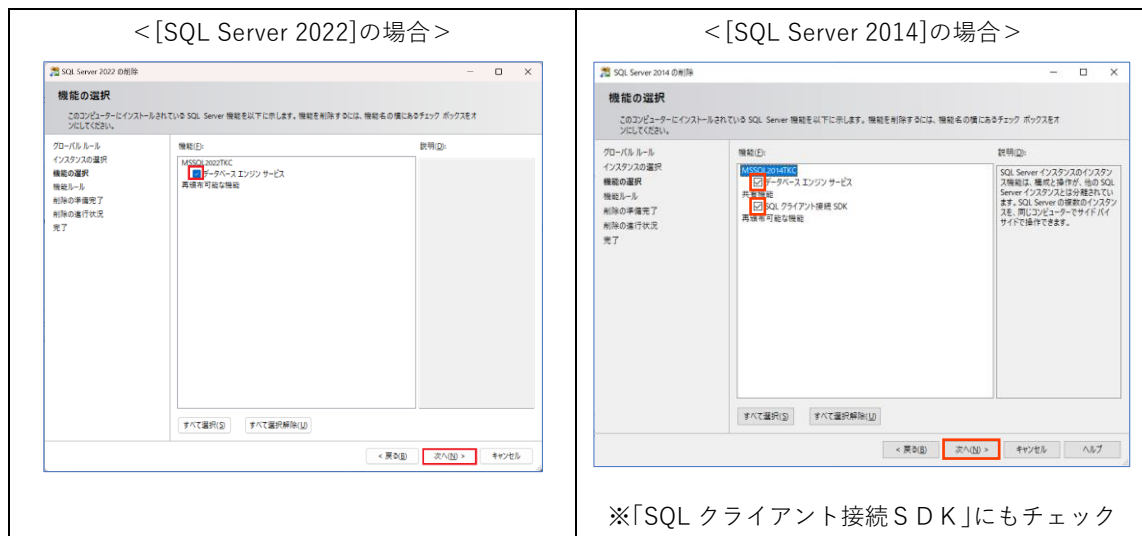


※[SQL Server 2008 R2]の場合は、インスタンス名を[MSSQL2008TKC]に読み替えてください。

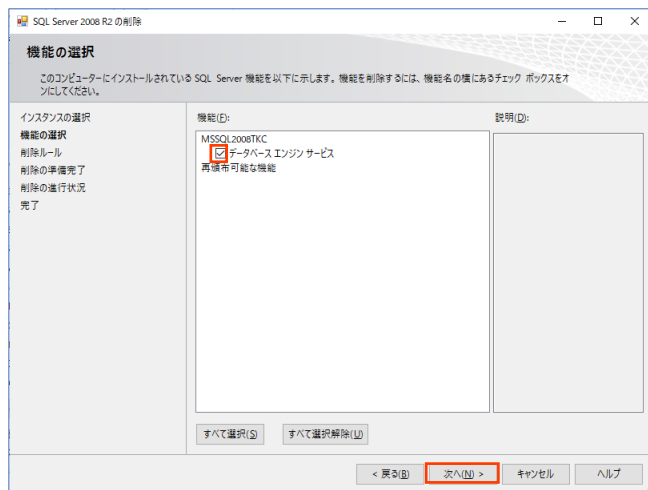


8. 以下の画面で「データベースエンジンサービス」にチェックを付けて、[次へ]ボタンをクリ

ックします。



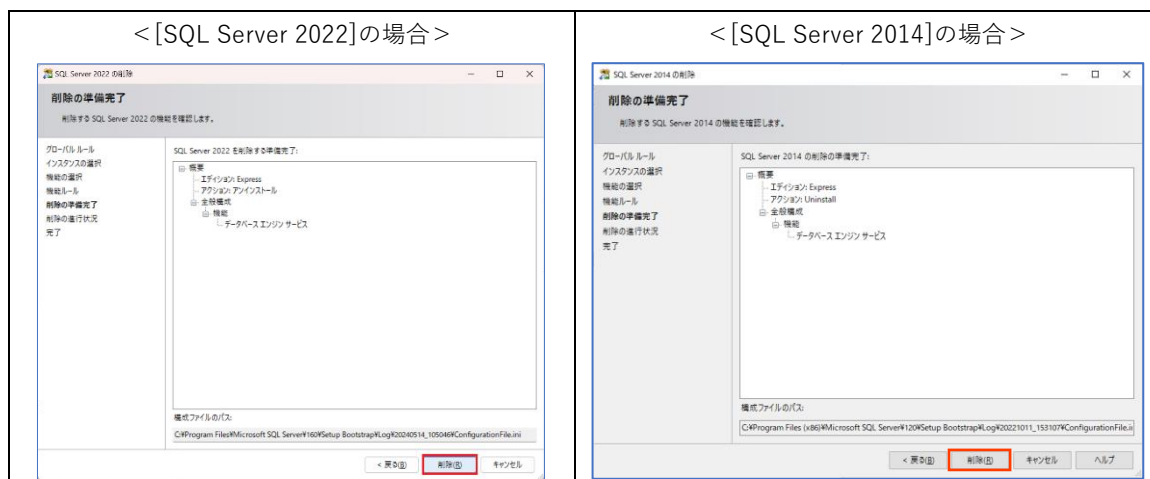
※[SQL Server 2008 R2]の場合で、「SQL クライアント接続 SDK」が表示されない場合は、「データベースエンジンサービス」にチェックを付けてください。



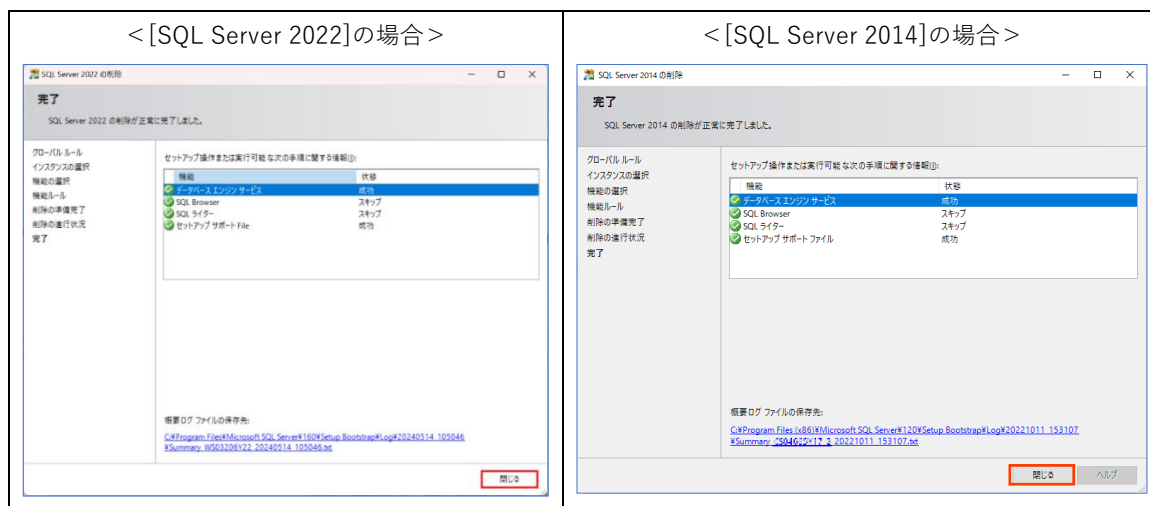
9. [機能ルール]画面では[次へ]ボタンを押下します。

※[次へ]ボタンをクリックしなくても、[機能ルール]画面が一瞬表示されて、次の[削除の準備完了]画面に進むこともあります。

10. [削除の準備完了]画面が表示されますので、[削除]ボタンをクリックします。



- 1 1. [完了]画面が表示されるので、[閉じる]ボタンをクリックして、ウィザード画面を終了します。



- 1 2. アンインストールが完了したら、[プログラムと機能]画面の右上の[×]ボタンをクリックして、[プログラムと機能]画面を閉じます。

- 1 3. 以下のフォルダが残っている場合は、フォルダを削除してください。

<[SQL Server 2022]の場合> C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL16.MSSQL2022TKC
<[SQL Server 2014]の場合> C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\MSSQL12.MSSQL2014TKC
<[SQL Server 2008 R2]の場合> C:\Program Files (x86)\Microsoft SQL Server\MSSQL10_50.MSSQL2008TKC

- 1 4. PC(O S)を再起動してください。

以上